

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表(公表)

事業所名	放課後サポートクラブえがお
保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日 ～ 令和 6 年 11 月 8 日
保護者評価有効回答数	(対象者数) 12 名 (回答者数) 11 名
従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日 ～ 令和 6 年 11 月 8 日
従業者評価有効回答数	(対象者数) 6 名 (回答者数) 6 名
事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 2 日

★分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
①	日々のプログラム内容を小学生、中学生、高校生に分けて行っている	内容が難しいと感じられる場合は、中学生でも小学生と同じ内容のプログラムで行い、個々の特性に応じて変更する等の工夫をしている。	スタッフが様々な研修に参加することで知識を広げ、支援の質の向上を図れるようにしていく。
②	事業所内がバリアフリー化されている	ケガ防止の為に物を多く置かないようにしたり、目印となるようにカラーシールを貼って視覚に入りやすくする等の配慮を行っている。段差のない環境づくりに気を配っています。	定期的に安全点検を行い、安心安全に過ごせるよう十分気を付ける。
③	基準より多い人数の職員を配置している	職員を多く配置することで、体調不良等の急な欠員にも対応できるようにしている。また、幅広い職種の求人を出している。	専門職を増やすことで支援の質を向上につなげることが出来る。
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
①	中学生の支援時間が短い	中学生の下校時間が遅いため、十分な支援時間を確保することが難しい。職員の勤務時間を変更することも負担がかかる為、容易ではない	支援内容とスケジュールを工夫して計画を立てる。
②	職員配置が安定しない時がある	女性スタッフが多いため、家庭の事情(子の体調不良等)で休むことが多い。	事前に休むことが分かる場合は、早めに共有し調整する。
③	利用児童と職員の人数を考えると部屋の狭さを感じる	基準を満たした環境ではあるが、全ての部屋を支援の空間にすることで、クールダウン等個別に対応できる空間が不足してしまう。	パーティション等の設置を検討する。